

NO. 306

じゅんあい

平成24（2012）年9月1日

詩編と共に



詩編86編はダビデの詩であり、祈りでもある。

「主よ、わたしに耳を傾け、教えてください。」

わたしは貧しく、身を屈めています。」（詩編 86：1）

祈りは誰に向ってするのか。それは主なる神に向ってである。

しかも謙遜そのものの砕かれた心で自らを主に明け渡してせねばならない。

「わたしの魂たましいをお守りください
わたしはあなたの慈いつくしみに生きる者。
あなたの僕しもべをお救すくいください あなたはわたしの神
わたしはあなたに依より頼たのむ者。」 (詩編 86 : 2)

何を祈るのか。“わたしの魂をお守りください”と。ダビデははっきりと主に打ち明けて答えを求めてゆく。それは、思いのこもった力強い心よりの祈りである。ダビデは神様をはるか遠くに置くのではなく、ごく身近に“わたしの神”と言える程であった。

「主よ、憐あわれんでください 絶たえることなくあなたを呼ぶわたしを。」
(詩編 86 : 3)

憐れみを求める低い心こそ、主に喜ばれる心といえよう。

“主は謙へりくだる者に恵ほどこみを施される。”

“絶たえることなくあなたを呼ぶわたしを”

祈りは一時的であってはならない。絶たえることなき祈りでなければならぬ。しかも“あなたを呼ぶ”即ち、“主御自身を呼ぶ”“主の御名を呼ぶ”といえよう。

「あなたの僕しもべの魂たましいに喜びをお与えください。

わたしの魂が慕したうのは 主よ、あなたなのです。」 (詩編 86 : 4)

「神よあなたはわたしの魂をあなたに似せてお造りになりました。故ゆえに、私の魂は御身おんのもとに憩いこうまでは真まの安息あんそくを得ることは出来ないので」と聖オーガスチンが叫さけんだ言葉が迫ってくる。

「主よ、あなたは恵み深く、お赦ゆるしになる方。

あなたを呼ぶ者に

豊かな慈いつくしみをお与えになります。」 (詩編 86 : 5)

旧約時代に生きたダビデなのに、なぜか新約時代に生きた人の如く救い主(キリスト)を身近に常に味わう姿を、ダビデにおいて見るのである。

「主よ、わたしの祈りをお聞きください。

嘆き祈るわたしの声に耳を向けてください。」 (詩編 86 : 6)

“嘆き祈る”——まさに祈りは、押し出され祈らずにおられない“嘆き祈る”ものでなければ、真実性が薄れたものになってしまうといえよう。

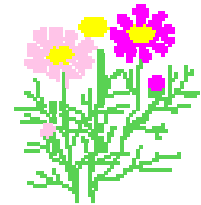
まさにゲッセマネの主の祈りこそ、祈りをささげる人の模範といえよう。

「苦難の襲うときわたしが呼び求めれば

あなたは必ず答えてくださるでしょう。」 (詩編 86 : 7)

“困った時の神頼み”と、昔から言われているが、苦難の中からの主への祈りには、真心と真剣さが満ち溢れている故に、主を動かすといえよう。

幾度となく試練に遭い、死に直面したダビデ。
彼の祈りはまさしく苦難の中からの祈りであった。



「あなたは偉大な神 驚くべき御業を成し遂げら

れる方 ただあなたひとり、神。」 (詩編 86 : 10)

神を求め神に生きる日々。彼ダビデの心は最も身近に主なる神（やがて受肉されるキリスト）を絶えず味わう毎日であった。そして、“ただあなたひとり、神”と信仰の体験の中から叫ぶのであった。

「主よ、あなたの道をお教えてください。わたしはあなたのまことの中を歩みます。御名を畏れ敬うことができるように

一筋の心をわたしにお与えください。」 (詩編 86 : 11)

慕わしく思えてならない“あなたの道”を私も歩いて行きたい。
裏表のない、また他の物に移ろう心などのない“一筋の心”となりたい
自ら。

詩というよりは、信仰のゴール、究極の到達点を味わい酔う一人の人の叫び。

「主よ、わたしの神よ 心を尽くしてあなたに感謝をささげ
とこしえに御名を尊びます。」 (詩編 86 : 12)

キリストの弟子であったトマスが“わたしの神よ”と信仰を告白した、
いわば旧約版をここに見る。

そして“御名を尊ぶ”ダビデでもあった。

やがて天国に入った時、心低き者となり、憐れみを人一倍求め、御名
を崇めゆく一人の人を見るであろう。

詩編は彼にとって主への信仰の表明であり、霊的体験の恵みの溢れ出
ずる記録集でもあった。そして、その追求は止むことなく絶えず主の御
顔を求めてのあくなき前進の綴りでもあった。

あゝ ダビデ！

彼のように我らも主をほめたたえ、心よりにじみ出る信仰の表現者で
ありたい。

「わたしはあなたのまことの中を歩みます。」 (詩編 86 : 11)



聖オーガスチン (アウグスチヌス) : (AD 354 ~ 430) 古代キリスト教の
神学者、哲学者、説教者。若い頃に異教を信じたり放蕩な生活を送ったがキリ
スト教に回心し、後に聖職者となる。以後のキリスト教に大きな影響を与えた。

母モニカの厚い祈りがあった《涙の子は滅びない》。 母も聖人。

殉愛キリスト教会

牧師 : 山 縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町タ 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>